



久慈設計は2021年6月5日で
創立9周年を迎えました

設計担当者紹介



設計担当 一級建築士 小川 茂樹

(株)久慈設計東日本 代表取締役

この度の公民館の計画においては、地域のニーズに沿った機能の確保と共に、周辺施設と連携するハブとなり、より多様性のある文化創造拠点となるよう、計画を進めました。計画に際し、多くの方からのご助言、ご協力いただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

速報 福島県知事 内堀雅雄様にご挨拶

この度、2021年11月に福島県庁を表敬訪問させていただきました。2019年1月より福島県企画調整部様とのコラボ企画として、「Fukushima with a SMILE!」がスタートし、福島県内市町村各自治体様の観光、産業等を始めとしたふくしまの魅力紹介を、毎月発行のパンフレットを通してお伝えしていました。おかげさまで2022年1月号(Vol.37)にて4年目を迎えることができました。引き続き久慈設計はふくしまを応援して参ります!!

[福島県の復興なくして東北の復興なし!]



内堀雅雄知事(中央左)と当社代表(中央右)



内堀知事よりお話をうながさせて顶きました



内堀知事と対談



今年の実業の発展を、西浦町長の前にて

New Office 横浜事務所 開設!!



(株)久慈設計
横浜事務所 所長

管理建築士
一級建築士 小川 直樹

この度、令和3年7月30日に株式会社 久慈設計横浜事務所を開設させていただきました。

今後、神奈川県内を中心に建築設計・建築監理を行って参ります。グループ他事業所とともにご愛顧いただければと思います。宜しく願い致します!

Always
with a SMILE!

発行責任者 株式会社 久慈設計
住 所 / 石手典昌商店街3-11
TEL / 019-624-2020

会社HP
トップページ



会社HP
リクルートページ



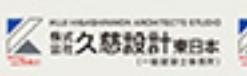
Always with a SMILE!

——「いつでも どこでも だれでも」
学べる生涯学習の拠点

特集 宮城県栗原市 若柳公民館



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社
久慈設計
(一級建築士事務所)



KUJI HASEGAWA ARCHITECTS STUDIO
株式会社
久慈設計東日本
(一級建築士事務所)



KUJI SAKAEN THAI CO., LTD.
株式会社
久慈設計
THAILAND



株式会社
久慈設計
横浜事務所
(一級建築士事務所)



「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」

久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて福島県の魅力を発信していきます。



宮城県栗原市 若柳公民館

施工地/宮城県栗原市若柳字川北古川183
竣工年月/2021年11月
敷地面積/12,034.94m²
延床面積/1,908.45m²
構造/鉄筋コンクリート造2階建て

地域文化の中心拠点として

宮城県内陸北部に位置する栗原市には、市内に18の公民館を有し、各地区で施設数や利用状況、施設の老朽化に相違がある施設状況がありました。市内公民館の平準化を図るため、公民館を各地区1館に集約し、老朽化した市内公民館の順次改築が進められています。この度、本施設の東側に立地する若柳総合文化センターや南側、若柳中央児童遊園と連携する新若柳公民館が地域文化の中心拠点として新たに誕生いたしました。

地図



配置図



平面図



- ①ホワイエ
- ②キッズスペース
- ③図書室
- ④軽運動場
- ⑤事務室
- ⑥創作室
- ⑦創作作業室



- ⑧キッチンスタジオ
- ⑨大研修室
- ⑩研修室
- ⑪和室
- ⑫設備機器置場



軽快でモダンな施設

本計画では建物の水平性を強調した伸びやかな表情作りにより軽快でモダンな施設構成とし、時間を経ても飽きられることのない、簡素で自律性を持たせた意匠計画コンセプトといたしました。

玄関の風除室をくぐると広がるホワイエを、市民を迎える場として栗原市産木材などを使用した木質の空間とし、2階の研修室と廊下境をガラス壁とするなど、明るく開放的な空間環境といたしました。

また軽運動場は地元栗原市内で盛んに行われる和太鼓演奏の練習も行える様に防音仕様とし、陶芸教室等が行える創作室の設置や、図書室機能等の充実も図ることで、地域に開かれた、誰もが利用しやすい自発的な文化交流を生む施設を目指しました。



防災機能の強化

本施設は地域の一時避難場所となることから1階屋上部は、浸水のない設備機器置場として、受変電設備、受水槽、貯湯槽などを配置し、断水時には受水槽にて一時的に上水の確保や、各手洗いトイレが使用できるようになり、停電時にもポータブル発電機にて施設に電力供給が行えるよう、非常時の施設機能強化に努めました。